

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公開番号】特開2014-23847(P2014-23847A)

【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-007

【出願番号】特願2012-168627(P2012-168627)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球の入球を契機に、当りか否かの当り抽選の権利が付与され得る始動口と、

前記始動口へ入球した遊技球を検知する入球検知手段と、

前記当り抽選を行う当り抽選手段と、

前記当り抽選の抽選結果を導出する結果導出演出を導出手段に実行させる結果導出演出制御手段と、

前記当り抽選に当選した場合の当りの種類を決定する当り種決定手段と、

前記当り抽選に当選した場合に当該当選の対象となる結果導出演出の終了後、前記当り種決定手段が決定した当りの種類に基づき特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する開閉制御手段と、

前記開閉制御手段によって前記特別入賞手段が開放されているとき、前記特別入賞手段が開放されていることを遊技者に報知する報知演出の報知手段における実行状態を制御する報知演出制御手段と、

前記当り抽選に当選したことを示す当り信号を遊技機外部へ出力する信号出力手段と、を備え、

前記開閉制御手段は、

前記特別入賞手段の開放状態を第1の開放状態とするときには前記特別入賞手段に遊技球を入球させることの容易な第1時間を上限として開放を維持する一方、前記特別入賞手段の開放状態を第2の開放状態とするときには前記第1時間よりも短い第2時間を上限として開放を維持し、

前記当りの種類には、当り遊技の開始から所定回数目までの前記特別入賞手段の開放を前記第2の開放状態とした後、次の前記特別入賞手段の開放が前記第1の開放状態へ切り替わる短縮後特殊当りが含まれ、

前記報知演出制御手段は、

前記短縮後特殊当りに基づき前記開閉制御手段が前記特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する際ににおいて前記特別入賞手段の開放状態が前記第2の開放状態から前記第1の開放状態へ切り替えられるタイミングに合わせて、前記報知演出の実行状態を第2の実行状態から第1の実行状態へ切り替え、

前記信号出力手段は、

前記短縮後特殊当りに基づき前記開閉制御手段が前記特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する際ににおいて前記特別入賞手段の開放状態が前記第2の開放状態から前記第1の開放状態へ切り替えられるタイミングに合わせて、前記当り信号を出力することを特徴とする遊技機。

#### 【請求項2】

前記当りの種類には、前記特別入賞手段の1回目の開放を前記第1の開放状態とする特別当りが含まれ、

前記報知演出制御手段は、

前記特別当りに基づき前記開閉制御手段が前記特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する際ににおいて前記特別入賞手段の1回目の開放が開始するタイミングに合わせて、前記報知演出の実行状態を前記第1の実行状態とし、

前記信号出力手段は、

前記特別当りに基づく当り遊技の開始に合わせて、前記当り信号を出力することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

#### 【請求項3】

前記報知演出の実行状態が前記第1の実行状態であるときには前記報知手段にて報知演出が実行される一方、前記報知演出の実行状態が前記第2の実行状態であるときには前記報知手段にて報知演出が実行されないことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記問題点を解決するために、請求項1に記載の発明は、遊技球の入球を契機に、当りか否かの当り抽選の権利が付与され得る始動口と、前記始動口へ入球した遊技球を検知する入球検知手段と、前記当り抽選を行う当り抽選手段と、前記当り抽選の抽選結果を導出する結果導出演出を導出手段に実行させる結果導出演出制御手段と、前記当り抽選に当選した場合の当りの種類を決定する当り種決定手段と、前記当り抽選に当選した場合に当該当選の対象となる結果導出演出の終了後、前記当り種決定手段が決定した当りの種類に基づき特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する開閉制御手段と、前記開閉制御手段によって前記特別入賞手段が開放されているとき、前記特別入賞手段が開放されていることを遊技者に報知する報知演出の報知手段における実行状態を制御する報知演出制御手段と、前記当り抽選に当選したことを示す当り信号を遊技機外部へ出力する信号出力手段と、を備え、前記開閉制御手段は、前記特別入賞手段の開放状態を第1の開放状態とするときには前記特別入賞手段に遊技球を入球させることの容易な第1時間を上限として開放を維持する一方、前記特別入賞手段の開放状態を第2の開放状態とするときには前記第1時間よりも短い第2時間を上限として開放を維持し、前記当りの種類には、当り遊技の開始から所定回数まで前記特別入賞手段の開放を前記第2の開放状態とした後、次の前記特別入賞手段の開放が前記第1の開放状態へ切り替わる短縮後特殊当りが含まれ、前記報知演出制御手段は、前記短縮後特殊当りに基づき前記開閉制御手段が前記特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する際ににおいて前記特別入賞手段の開放状態が前記第2の開放状態から前記第1の開放状態へ切り替えられるタイミングに合わせて、前記報知演出の実行状態を第2の実行状態から第1の実行状態へ切り替え、前記信号出力手段は、前記短縮後特殊当りに基づき前記開閉制御手段が前記特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する際ににおいて前記特別入賞手段の開放状態が前記第2の開放状態から前記第1の開放状態へ切り替えられるタイミングに合わせて、前記当り信号を出力することを要旨とする。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の遊技機において、前記当りの種類には、前記特別入賞手段の1回目の開放を前記第1の開放状態とする特別当りが含まれ、前記報知演出制御手段は、前記特別当りに基づき前記開閉制御手段が前記特別入賞手段の開放及び閉鎖を制御する際ににおいて前記特別入賞手段の1回目の開放が開始するタイミングに合わせて、前記報知演出の実行状態を前記第1の実行状態とし、前記信号出力手段は、前記特別当りに基づく当り遊技の開始に合わせて、前記当り信号を出力することを要旨とする。